

重点施策点検・評価表

4 - 1

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する
	担当課（館）
	① 企画（特別）展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信
	歴史文化課
活動内容	大館の自然や文化財に対して関心を高めてもらうため、リアルタイムで情報発信できるホームページ、ツイッター、フェイスブックをツールとして、旬で興味深い内容を400件程度発信する。
点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>コロナ禍で人々の移動が制限される状況の中、博物館や鳥潟会館などの施設情報・天然記念物・イベントなどホームページの更新28回、ツイッター166件、フェイスブック329件、合計523件の情報発信を行った。 また、風穴館のユーチューブ動画の視聴回数は484回のほか、ニホンザリガニの動画もリアルタイムで発信し関心を高めた。博物館の企画展で郷土の日本画家の作品展を開催して多くの方にご来館いただいた。今後もニーズに合わせて企画していきたい。</p>
課題等	<p>コロナ感染の収束が見通せない状況が続いているが、各施設の情報や企画展について、広くPRするため、ホームページ、ツイッター、フェイスブック等のSNSにより、タイムリーな情報発信に努める。</p> <p>取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	情報発信は現代社会のニーズにマッチしている。今後も情報の発信に努めていきたい。
	② 学術的講座や企画展の開催
	歴史文化課
活動内容	児童や関係団体に好評な「わくわくシリーズ」や「出前講座」の開催、大館郷土博物館等における学術的講座や特別展の開催など、関係課や関係団体と連携しながらニーズに合わせた学びの機会を提供していく。
点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>コロナ禍のため出前講座の要請は減少したが、子ども科学教室「わくわくサイエンス」は、定員数を抑え感染症対策を施して5回実施した。学術的講座としては、新しい試みとして小坂町と共同で当地域をテーマとした「大館・小坂博物館講座」を3回（6講座）開催した。 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、WEB会議システム「ZOOM」を用いたオンライン形式と参集による併用方式で開催した。講師は本市と小坂町の学芸員等のほか民間の郷土史研究家が務めた。企画展は、「発掘！大館城跡～令和元年度発掘調査成果展～」や「成田昭夫 日本画展」など6回開催した。</p>
課題等	<p>コロナ禍では人が密に参集しないような型式での講座運営が求められる。オンライン講座の受講は未経験のため、「自分にとって難しいのではないか」という先入観が高齢者層にあることが課題である。参加者アンケートによれば、「本講座を受講してオンライン講座を受講できるようになったことが収穫」という感想も寄せられているため、簡単であることをいかに周知できるかが課題でもある。</p> <p>取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	大館市と小坂町の連携による講座は、広域的で良い取組みである。広い視点で力を合わせやっていくことは今後の事業のヒントになると思われる。 オンラインは一度経験した高齢者が他の高齢者にその良さを教えるなどして横の広がりとなって波及していくことが今後楽しみである。

重点施策点検・評価表

4 - 2

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
	担当課（館）
	① 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
	歴史文化課
活動内容	大館市郷土芸能保存協会に加盟する団体の郷土芸能の記録保存と、継承や公開の機会を支援する。 また、市内に存在する文化財の公開や保護の活動をしている大館市文化財保護協会の事業を支援する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 大館市郷土芸能保存協会加盟団体は、市内の小学生へ郷土芸能を継承する機会を設けることができた。 例年行ってきた大館市文化財保護協会との共催による文化財展覧会や伝統文化親子教室での伝統芸能の発表などは、昨今の社会情勢の影響により実施できなかった。
課題等	両団体とも高齢化が進み、独自の事業を継続することが難しい状況が続いているが、地域の郷土芸能を継承するため小学校で活動しており、支援を継続していく必要がある。
学識経験者等の意見	少子化により若い人が減っており、担い手の確保がなかなか難しいと思う。 伝統芸能を記録として残していくことで、大館以外の方が興味を持ち伝えていける可能性がある。撮影したものを活用していければ良い。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	歴史文化課
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	
学識経験者等の意見	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-3-1

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課（館）
	① ニホンザリガニの生息地再生と増殖
	歴史文化課
活動内容	天然記念物「ザリガニ生息地」の再生を目指す。また、今年度は増殖事業の3年目を迎え、ニホンザリガニの増殖技術が更に向上するよう関係者と連携し情報交換をしていく。 昨年度完成した人工生息地については、定着状況や生息環境について丁寧にモニタリングをして対処していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 大館郷土博物館、男鹿水族館での飼育展示を通して、天然記念物保存の気運を醸成するため教育普及に努めた。 昨年度創出した第一人工生息地でモニタリング調査を行った結果、30匹が確認され個体を放流しなくても周辺から自然に入り込んでいたため、創出した環境がニホンザリガニに適していた結果であると考えられる。また、令和4年度以降に造成予定の第二人工生息地の設計を行った。
課題等	増殖技術はまだ確立されていないので、専門家の協力を得て引き続き研究していく。 第一人工生息地は、環境の変化が生じていないか、きめ細かな現場確認が必要である。また、第二人工生息地は令和4年度以降に創出を行う予定であるが、湧水量が少ないことが課題である。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	ニホンザリガニ生息地の南限であることを多くの市民の方々に理解してもらえば、後押しとなって生息地を整備しやすくなるので継続して推進していただきたい。
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理
	歴史文化課
活動内容	大館城跡発掘調査に伴う出土品について、整理・記録・保存をする。また官民の開発事業や住宅建築等に係る発掘調査は、相手方と連携しながら適時対応していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 新庁舎建設に伴う市民体育館、武道館跡地の発掘調査が終了した。官民の開発事業に伴う調査は8件実施した。 これまでの成果を企画展「発掘！大館城跡～令和元年度発掘調査成果展～」として郷土博物館において7月12日から8月22日まで開催し、コロナ禍の中652人の来館者があった。
課題等	大館城跡の発掘調査は今後も続いていくことから、関係部局と綿密に協議を重ねながら事業を進める必要がある。また、出土品の整理保存や記録報告を確実に丁寧にしていく。 大館城は歴史的に興味深い分野であり、市民や市民以外へも、適宜調査の成果について情報発信し、関心を高めていきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	大館城の話は興味深い。新庁舎もオープンし、大館城の展示コーナーもあるとのことなので、発掘品を活用して関心を持ってもらえるように取り組んでいただきたい。

重点施策点検・評価表

4-3-2

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える	担当課（館）	
	③ 鳥潟会館庭園の国指定を目指した取り組み	歴史文化課	
	活動内容	文化庁の名勝調査事業として、3年をかけて国の名勝指定の申請に耐えうる報告書の刊行を目指す。今年度は2年目で、昨年度に引き続き調査委員会の開催、庭園の測量、文献の調査を行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 令和元年度に設立した名勝地調査委員会について、令和2年度は1回目が書面開催、2回目は一部委員がWEB会議システム「ZOOM」による参加であったが開催することができ、名勝指定を目指す上での課題・調査の進め方など詳細なアドバイスと指示をいただきながら進めた。また、庭園の測量などの他、鳥潟家に関わる文献の調査を行い中間報告書を作成した。来年度も継続していく。	
	課題等	調査事業は複数年にわたるため、スケジュールに沿って遅滞なく進めていく。また、文化財の価値や文献調査等については専門知識を要するものであり、委員からご意見を伺いながら慎重に進めていく必要がある。国の予算の関係で事業期間が3カ年の予定から4カ年に伸びることとなったが、調査を深める良い機会ととらえ、着実に実施していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	見学者は新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているが、コロナ後をイメージして庭園や会館のPRを行っていただきたい。	
			歴史文化課
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）	
	課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見			

重点施策点検・評価表

4 - 4

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める
	担当課（館）
	① 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織への支援
	歴史文化課
活動内容	「大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会」の事業は3年目を迎える。民間の実行委員会であるが、実績に結び付くよう積極的に支援していく。 昨年度に続き、ヘリテージマネージャー・ステップアップ講座や、外国語対応のホームページ・動画作成等の事業が予定されており、関係課とも連携して取り組んでいく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会が計画していたヘリテージマネージャー・ステップアップ講座として市内でのフィールドワークや研修会を実施した。また、中国語版ホームページを作成するなど、情報発信事業を行った。 事業の実施にあたり、実施団体や関係課と連携を図り、県文化財保護室や文化庁とも協議しスムーズに進めることができた。
学識経験者等の意見	歴史まちづくり事業のソフト部分を推進するため、伝統芸能の継承や歴史的建造物の保存活用など期待が高いが、本委員会への新規参入がない現状。 今後、伝統芸能活動の維持保存を図っていくためにも、事業の成果を活かし、賛同する団体を増やしていきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	
学識経験者等の意見	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度